04 感情の整理と言語化を支援するチャットボットの開発



石本 鈴蘭
滋賀県立大学
大学院工学研究科
電子システム工学専攻
知能情報工学分野 2年

「AIとの対話で、感情を言葉にする手助けを」

自分の気持ちを整理して伝えたいのに、なかなかうまく言葉にできない。私自身がそんな悩みを持っていたことから、生成ＡＩのＡＰＩをＬＩＮＥと連携したチャットボットを開発しました。ＬＩＮＥでＡＩと会話するだけで自分の感情の言語化の練習ができるシステムです。「同じ悩みを持つ人を技術で支援し、変革を起こしたい」という思いが研究の原動力になりました。

開発時に重視した点は、いかにユーザーが感情を言語化しやすくできるか。扱う対象が感情という繊細なものである以上、慎重な配慮と適切な距離感をもって、ＡＩとの会話を設計する必要があります。そのため、感情を直接的に尋ねるのではなく、日々のちょっとした出来事を質問することから始め、自然な対話を促せるよう工夫しました。ＬＩＮＥを通じて利用できる気軽な言語化ツールである点も特長です。



研究を学生に教える石本さん

今後はこのシステムが、人の感情整理や自己理解の支援に寄与することを実証したいと考えています。自分自身の感情を大切にする人が増えれば、他者との相互理解や対話が深まり、ひいてはよりよい社会の構築につながるでしょう。私の開発がその一助となるよう、多くの人が使いやすいシステムを目指して改良を重ねていきます。